



2015 Kashin Disclosure

かしんディスクロージャー

鹿児島信用金庫



ごあいさつ

皆さまには、平素より鹿児島信用金庫に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。
日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

ここに当金庫第93期業務概況と決算についてご報告するとともに、当金庫に対するご理解を深めていただき、今後一層のご愛顧を願って、ディスクロージャー誌「2015 かしんディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧の上、当金庫の経営内容についてご理解を賜れば幸いに存じます。

平成26年度上半期、日本経済は消費税増税等の影響によりマイナス成長に陥りましたが、10月末には日銀が追加金融緩和に踏み切り、さらに、安倍政権は平成27年10月に予定されていた再増税を平成29年4月に先送りするという決断を行ったことなどから、企業の景況感は底堅く推移し、輸出や設備投資の持ち直しで、景気は回復基調を取り戻しつつあります。

一方、県内景況は、個人消費が底堅く推移していることに加え、円安の進行や航空路線の拡充等による外国人観光客の増加などにより、徐々に持ち直しの動きが見られました。しかし、社会環境においては、人口減少や産業構造の変化など、喫緊に取り組むべき課題を抱えております。

このような環境の中、当金庫は、地域密着型金融のより一層の推進に取り組み、地域経済の発展に寄与するべく多様な金融サービスのご提供に努めてまいりました結果、最終利益は3期連続で増益となり、自己資本比率も増加するなど、順調な業績を収めることができました。皆さま方のこの1年間のご支援に厚く感謝申し上げます。

平成27年度は、新たに策定しました中期計画「かしん 未来への挑戦」に掲げた支援力・営業基盤の強化、経営力・内部態勢の強化、組織力・人材力の強化、つなぐ力・総合力の強化を目指し、地元企業や個人のお客様になくてはならない金融機関として、役職員一同全力を尽くしてまいります。

また、当金庫は、地方創生の実現のために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に積極的に参画し、特に地域金融機関に求められる課題の解決に向けて、産・官・学・労と連携し、全力で取り組んでまいります。

皆さま方におかれましては、何卒、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成27年7月

理事長 後藤 孝行



コーポレートマーク



はつらつ未来・はつらつ笑顔。

かしん 鹿児島信用金庫

CONTENTS

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
役員	3
組織図	4
信用金庫のしくみについて	5
26年度の事業概況	7
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組の状況	9
内部統制システムについて	15
リスク管理体制	18
コンプライアンス	19
金融ADR制度への対応	22
一年のあゆみ	27
業務内容	29
店舗一覧	33
信金中央金庫のご案内	36
資料編	38

当金庫の概要

本店所在地／鹿児島市名山町1番23号

創立／大正11年10月1日

会員数／44,047人

出資金／40億31百万円

預金／2,972億円

貸出金／1,939億円

店舗数／44ヶ店(代理店含む)

常勤役職員数／421人

(平成27年3月31日現在)



左から（山神常務理事、中俣専務理事、後藤理事長、原蘭常務理事）

役員

（平成27年6月25日現在）

■理事長 後藤 孝行	■常勤理事（業務統括部長） 西 哲郎	■常勤理事（融資部長） 石神 秀幸	■常勤監事 武田 文昭
■専務理事 中俣 義公	■常勤理事（監査部長） 田中 孝司	■理事（相談役） 岩男 秀彦	■監事 上川路 長生
■常務理事 原 蘭 勉	■常勤理事（本店営業部長） 栗田 広次	■理 事 近藤 健	■監 事 東 條 正博
■常務理事（経営管理部長） 山 神 盛	■常勤理事（総務部長） 竹原 毅	■理 事 小 正 芳史	■監 事 岩 重 武

※理事 岩男 秀彦、近藤 健、小正 芳史は、職員外理事です。

※監事 東條 正博、岩重 武は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

経営理念

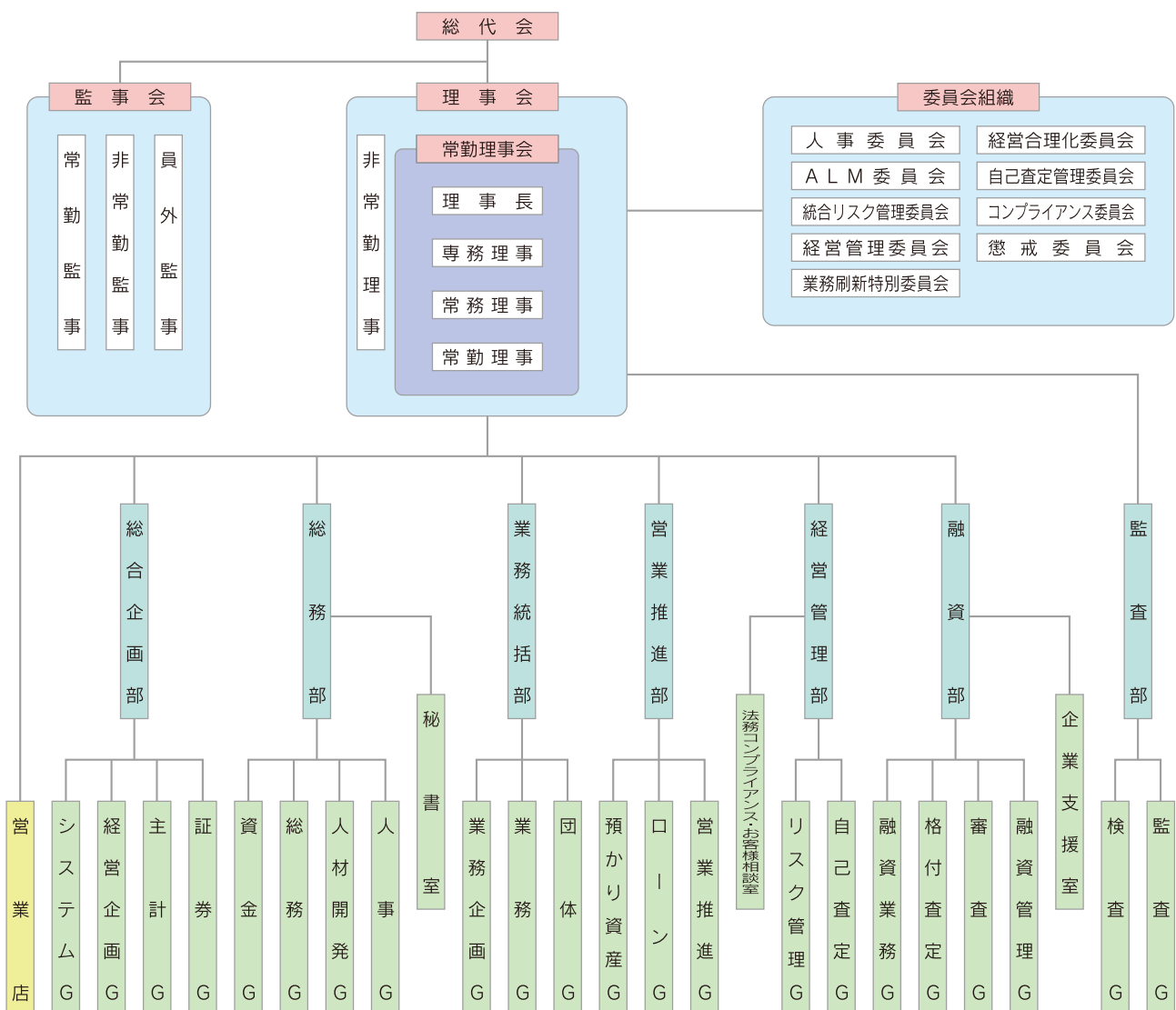
中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

基本方針

- 我々は地域経済の伸展に寄与する。
- 我々は自己の職責を誠実に果たす。
- 我々は中小企業者へ奉仕する。
- 我々はお互いの資質向上に努める。
- 我々は金庫の健全経営に協力する。

組織図

(平成27年6月1日現在)





信用金庫のしくみについて

総代会制度について

1 総代会とはどういうものなのでしょう

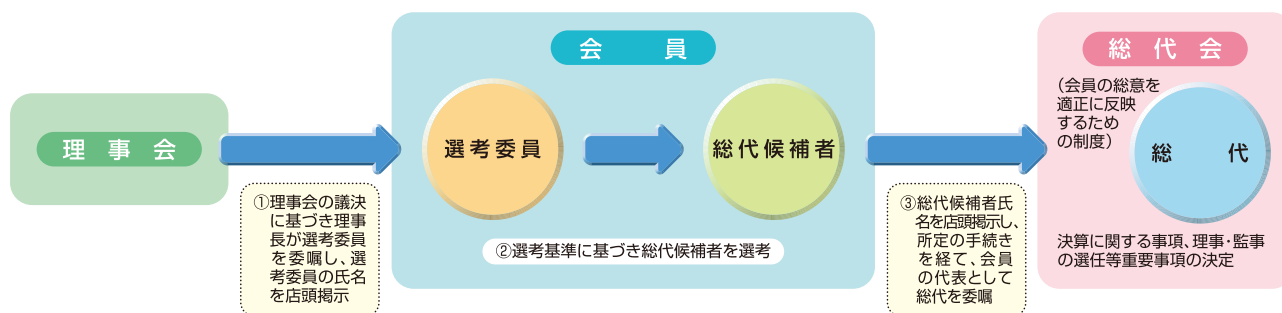
信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されております。

また、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善にも積極的に取り組んでおります。

なお、当金庫では、総代会の機能強化に向け自主的な取り組みを一層推進してまいります。

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です



2 総代とその選任方法(当金庫 定款24条～30条 及び 総代会選任規程)

(1) 総代の任期・定数

- ・ 総代の任期は3年です。
- ・ 総代の定数は150人以上180人以下で、各選任区域の定数は、その区域の会員数に応じて定められています。

平成27年3月31日現在

選任区域	会 員 数			主 な 営 業 区 域
	法 人	個 人	合 計	
1 区	17,036	3,884	20,920	鹿児島市内
2 区	3,251	485	3,736	加治木支店・蒲生支店・始良支店
3 区	2,082	370	2,452	鹿屋支店・寿支店・志布志支店
4 区	2,412	519	2,931	国分支店・隼人支店
5 区	1,230	207	1,437	指宿支店
6 区	4,616	975	5,591	串木野支店・湯之元支店・伊集院支店・高尾野支店 市来出張所・出水支店・川内支店・阿久根支店
7 区	1,220	173	1,393	大口支店
8 区	1,650	236	1,886	栗野支店・牧園支店
9 区	2,181	363	2,544	枕崎支店・加世田支店・知覧支店
10 区	999	158	1,157	宮之城支店
合 計	36,677	7,370	44,047	

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、次の3つの手続を経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(3) 総代の選考基準

- ① 資格要件
 - ・ 当金庫の会員であること
- ② 適格要件
 - ・ 総代として相応しい見識を有していること
 - ・ 良識をもって正しい判断ができる人であること
 - ・ 地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること
 - ・ 人格、見識に優れ、当金庫の発展に寄与できる方
 - ・ 金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方

第93期通常総代会

第93期通常総代会が、6月25日(木)「かしんアイホールビル」6階ホール(鹿児島信用金庫高見馬場支店)において開催されました。

総総代数154名中出席総代数145名のもと以下の議題が附議され、賛成多数で可決されましたことをご報告いたします。

報告 業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

議案第1号 剰余金処分案承認に関する件

議案第2号 会員除名に関する件

議案第3号 理事の任期満了に伴う選任の件

議案第4号 退任理事に対し退職慰労金贈呈の件



鹿児島信用金庫総代名

(平成27年6月25日現在 総代数154名 本誌掲載総代数154名)

記載の方々が当金庫の総代として、会員の方々を代表して当金庫の経営に参加されております。

※ここに記載してあります総代の方々には、個人情報の第三者への開示について事前に同意をいただいて、公表しております。

第1区				坂上 益 啓	末吉 晴 海	隈原 衛	津田和 亨	神 園 祐 治
長 島 和 實	片平 裕 康	牧 清一郎	黒木 公 博	末吉 忠 己	梶 山 勲			
野 田 健太郎	新 福 誠 一	吉 満 秀 勝	末重 堅 司	第5区				大 橋 道 孝
卓 間 兼二郎	上 塘 守	坂之上 義 紘	永 野 貞 行	中 村 勝 信	第8区		藤 井 純 博	
小 田 正 弘	内 門 一 郎	津 曲 善 三	田 中 久 嗣	堀之内 茂	第9区		中 島 勝 美	
宮 原 敏 孝	川 上 哲 三	徳 田 良 美	黒 田 清 忠	南 荒 生	第10区		内 村 幸 男	
松 山 保	森 山 清 隆	山 元 茂	池 田 清	後 迫 芳 周	第7区		田 中 茂	
村 田 宏 六	時 任 克 暢	安 楽 勉	前 田 豊	第3区		山 口 篤 典		
堀 切 博	山之内 浩 明	中 島 修	第4区		後 瀉 操	第6区		大 庭 勝 典
生 駒 一 雄	神 村 茂 廣	前 田 孝 夫	和 田 貞 則	服 部 嘉 香	上 夷 慶 克	第2区		山 口 克 典
森 重 匡 世	永 田 浩 二	福 留 実	斎 藤 實	松 元 麟太郎	第1区		平 田 禮 一	
松 山 明 允	中 園 功 一	櫻 井 輝 雄	有 園 耕 一	福 元 隆 史	第5区		松 野 下 清 英	
吉 富 秀 介	高 山 博 行	藤 井 清 弘	新 健一郎	吉 村 光 弘	第8区		松 野 下 功 一	
川 島 英 和	窪 田 茂	小 木 下 博 司	和 田 輝 明	松 下 明 弘	第9区		揚 野 俊 清	
田 畑 勇	中 村 純	相 楽 栄 二	水 迫 邦 男	今 田 廣 己	第10区		上 釜 潤 一	
肥田木 康 正	田 實 大志朗	有 村 信 一	高 木 博 志	松 尾 泰 博	第7区		山 口 茂 樹	
梶 井 銀二郎	福 元 達 男	吉 村 博 文	岩 越 隆 史	前 原 くるみ	第3区		桐 原 清 和	
岩 元 耕 兒	前 田 幸 一	三 井 清 隆	榎 和 臣	小 平 竜 平	第4区		浮 辺 正 和	
上 拾 石 秀 一	高 橋 悟	深 水 清 秀	第5区		平 井 勝 也	第6区		戸 谷 満 昭
岩 男 直 哉	赤 塚 晴 彦	濱 島 從 道	山 下 貞 光	南 津 清 文	第7区		井 川 清 隆	
吉 田 健 朗	大 迫 純 隆	濱 寄 一 郎	吉 永 廣 行	富 永 義 一	第8区		森 博 昭	
小 福 田 博	成 尾 虎次郎	牧 安 伸	淵 脇 利 文	池 田 貢	第9区			
橋 口 俊	五十嵐 芳 明	小 坂 元 幸 一	山 内 昌 一郎	宇 都 要 一	第10区			
西 村 佐多男	吉 留 康 貴	内 大 久 保 清志	重 久 盛 哉	中 俣 知 大	第1区			
鶴 留 政 博	川 田 代 勝 彦	時 村 友 一 郎	岸 本 博 人	白 坂 裕 一	第2区			
鮎 川 和 久	上 村 千 尋	第3区		水 間 良 信	第4区			
小手川 康 雄	末 吉 高 尋	犬 童 照 幸	中 村 博 美	第5区		第6区		
町 田 茂	横 村 讓	正 村 幸 雄	佐々木 邦 広	第7区		第8区		



26年度の事業概況

1 事業方針

平成26年度は、平成24年からスタートした中期計画「成長への挑戦（平成24年4月1日～27年3月31日）」の最終年度でありました。

中期計画では、「持続性のある経営の確立」「課題解決型金融の強化」「独自性のさらなる発揮」を金庫全体の事業方針として掲げ事業に取り組んでまいりました。

2 金融経済環境

平成26年度の日本経済は、消費税増税の影響等により、2四半期連続で前期比マイナス成長に陥りました。しかしながら、景気の下振れと消費税増税分を除いた消費者物価指数の低迷等を受けて、日銀は10月末に追加金融緩和に踏み切り、安倍政権は平成27年10月に予定されていた再増税を平成29年4月に先送りするという決断を行った結果、アベノミクス効果の浸透で、増税後も企業の景況感は底堅く推移し、輸出や設備投資の持ち直しで、景気は回復基調を取り戻しつつあります。

県内景況も、個人消費・住宅関連について消費税増税前の駆け込み需要による反動減や、夏場の天候不順による消費の低迷があったものの、個人消費が底堅く推移していることに加え、円安進行や航空路線の拡充等による国外観光客の増加等により徐々に持ち直しの兆しが見られました。

3 業績

当期末における貸出金残高は、事業性融資について減少したものの、保証協会の保証付き融資については堅調に推移し、また、個人向け融資の推進等により前期比34億24百万円増加の1,939億16百万円となりました。

預金残高は、個人、法人共に順調に推移したことから、前期比59億49百万円増加の2,972億73百万円となりました。

収益面では、個人向け取引の増加によるローン利息の増加や金融経済環境の回復に伴い有価証券などの余資運用が好調であったことから、業務純益は前期比6億26百万円増加の17億62百万円、経常利益は前期比1億11百万円増加の7億86百万円、当期純利益は前期比70百万円増加の6億44百万円となりました。

4 事業の展望及び当庫が対処すべき課題

迎える平成27年度は、リーマン・ショックや東日本大震災といった外的要因を乗り越え、平成26年の消費税増税の影響も徐々に和らいでいくことが予想され、アベノミクス政策と日銀による大胆な金融緩和、それに伴う円安効果と昨年からの原油安効果により景気回復基調が強まってくることが期待されております。

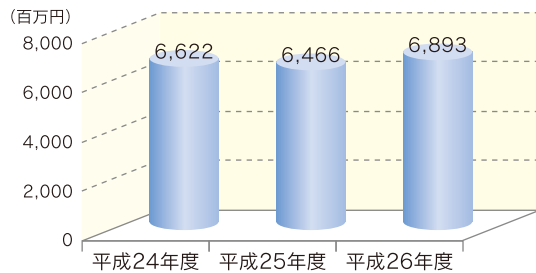
鹿児島県内においては、人口減少や産業の空洞化など経済社会全体として喫緊に取り組むべき課題を抱えており、首都圏や東海地区でみられるような力強い景気回復基調の勢いはみられないものの、国と地方が総力を挙げて取り組む「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果により、着実な景気回復軌道に乗ることが期待されております。

このような環境の中、当金庫は、地方創生の実現のために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に積極的に参画し、特に地域金融機関に求められる課題の解決に向けて、産・官・学・労と連携し、地方創生に全力で取り組んでまいります。

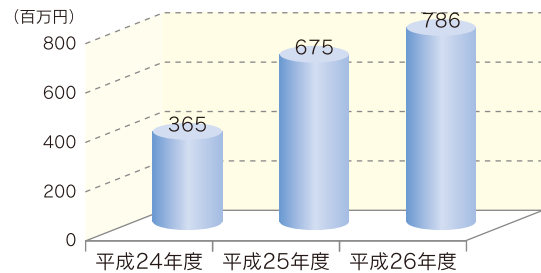
内部統制については、継続的に内部統制システムの整備を進め、その実効性を確保するため「内部統制基本方針」を定めています。本方針では、理事に委任することなく理事会が決定しなければならない重要な業務執行について、整備すべき態勢及び事項などを明らかにするとともに、より強固な態勢を築くため「コンプライアンス部門」「リスク管理部門」及び「内部監査部門」並びに「監事」が担う役割等についても定めており、当該基本方針の実効性の確保に一層努めてまいります。

また、平成27年度は中期計画「かしん 未来への挑戦」を新しく策定し、独自性発揮による地域の成長と価値創生を目指し、地元企業や個人のお客様になくてはならない金融機関として、地域経済の活性化、持続的な発展に役職員一同全力を尽くしてまいります。

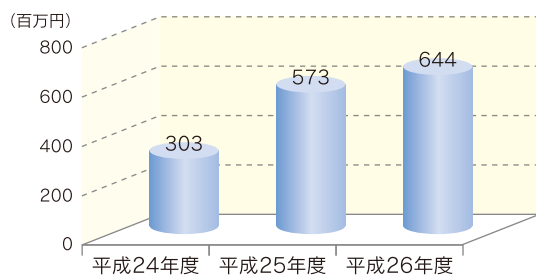
■経常収益



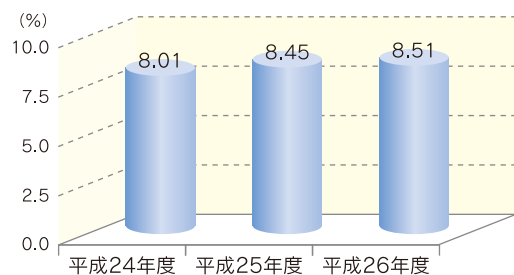
■経常利益



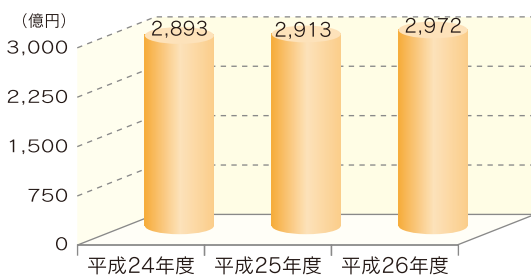
■当期純利益



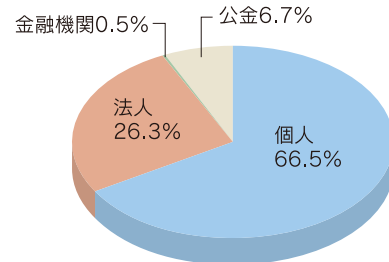
■自己資本比率



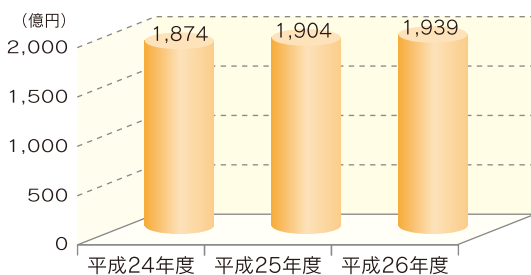
■預金積金残高



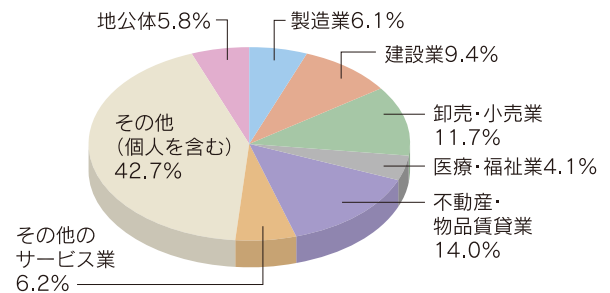
■預金残高全体に占める預金者別割合



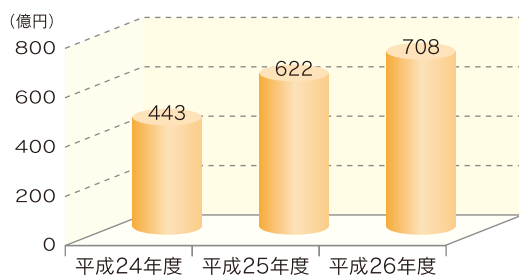
■貸出金残高



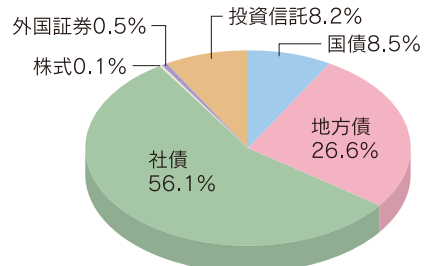
■貸出金残高の業種別比率



■有価証券残高



■有価証券残高の内訳別比率





中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

かしの杜

「つなぐ力の発揮」 かしの地域貢献活動

地域の活性化を図るため、鹿児島信用金庫の地域貢献として「かしの杜」（かしん総合人材育成構想）活動を行っております。

かしの杜

① 経営の杜

- ①かしん経営大学
- ②かしんビジネスチャレンジプラザ
- ③かしんトップマネジメント大学
- ④かしん経営者フォーラム
- ⑤かしん経営相談室

② 音楽の杜

- ①チャリティー演奏会
- ②各種ミニコンサート
- ③南日本音楽コンクール協賛

③ 教育の杜

- ①かしん「こども信用金庫」教室
- ②かしんアイホールセミナー
- ③硬筆コンクール協賛

④ スポーツの杜

- ①かしんカップ少年サッカー大会
- ②かしん旗少年剣道大会
- ③各種スポーツ大会主催

⑤ 緑の杜

- ①植樹による「かしの森」活動
- ②各種エコ活動

⑥ その他

- ①各地域での清掃活動
- ②献血活動

① 経営の杜

①かしん経営大学

かしん経営大学からかしん経営大学公開講座へ～「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への取り組み～

平成27年3月21日にかしん経営大学第18期卒業式が開催され、平成26年度に学んだ成果として、各グループから独自性のある事業計画案が発表されました。「かしん経営大学」は平成8年から開講しており、かしの杜（かしん総合人材育成構想）における経営の杜の一環として、「経営戦略や企業発展を目指すための勉強をしたい」という声にお応えするために開講した、1年間で集中して学べるスクール形式の講座です。

平成27年度からは、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取り組みとして「かしん経営大学公開講座」を開催します。「かしん経営大学」において18年間蓄積されたアイデアを、各自治体・地域住民に向けた具体的プロジェクトとして提案する計画です。

かしん経営大学公開講座の開催状況・予定

- 平成27年6月 5日（金） 始良市
- 平成27年6月19日（金） 霧島市
- 平成27年7月 9日（木） いちき串木野市
- 平成27年7月23日（木） 出水市
- 平成27年8月26日（水） 指宿市



かしん経営大学18期生の成果紹介

「森に遊ぶ・森に学ぶ・森に癒される、人と森の再生」

内閣府による「森林と生活に関する世論調査」をはじめとする各種統計資料より、多くの方々が森林について高い関心をもち、自然に癒されたいと感じている中で、実際にキャンプに訪れる機会が少ない理由は、準備など実施するまでのハードルの高さが原因であると導きだした。訪れた方々が「森林の中で遊ぶ・学ぶ・癒される」というコンセプトで、森林を活用し、手ぶらでキャンプができ、独自性のある施設で快適性・優雅さを加えたアウトドア空間を提供するための事業計画を立案した。



「万能調味料“なんでもイタリアン”」

現在は料理の簡素化が進み、細かい計量を嫌う傾向や健康志向の高さを背景に、栄養価の高い「ワイルドロケット」という野菜を原料としたイタリア風の味付けが可能となる調味料の商品化を研究した。原料は鹿児島・宮崎でのみ栽培でき、傷みやすく廃棄率が高いという弱点を克服して、粉末状の万能調味料を開発した。イタリア料理の専門店や鹿児島の特産品を扱う店舗での販売に加え、FAX・インターネットを活用した販路の多角化も検討している。経営大学卒業式では試作品を発表するなど、事業としての実現可能性の高さも感じられた。



②かしんビジネスチャレンジプラザ

「かしん経営大学」卒業生のフォローアップと県内の中小企業活性化のための経営者育成ならびに創業(起業・新規業種への参入含む)を支援し、多彩なビジネスを創造することで地域産業の成長に貢献することを目指して、「かしんビジネスチャレンジプラザ」事業を行っております。

かしんチャレンジマーケット in AMU広場

鹿児島中央駅アミュ広場において、当金庫の顧客・経営大学の卒業生等を対象に、顧客との対面販売を通じた商品のPR販売や、従業員の「売る気と売る技術」を磨くとともに、顧客の反応を肌で感じる場を提供しております。



商談会への出展支援

本県食品関連産業の振興を図るため、県内生産者・食品加工事業者の方々を対象に、食品を首都圏や県内外に向けて紹介し、市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会を、県内7金融機関で構成する鹿児島アグリ&フード金融協議会の一員として開催し、ビジネスマッチングの支援を行っております。

平成26年度の主な商談会

- (1) 南の逸品商談会(東京都) 平成26年9月
- (2) かごしまの逸品商談会(鹿児島市) 平成27年1月





かしの杜

③かしんトップマネジメント大学

当金庫では、かねてより地域密着型金融の取り組みを積極的に推進しているところですが、お取引先法人企業経営者の人材育成の一助として「かしんトップマネジメント大学」を平成22年から開講しております。



④かしん経営者フォーラム

参加企業の成長・発展と人材育成を目的として経営学を学び、大いなる事業繁栄と地域の活性化を目指し、平成25年7月に開講いたしました。



⑤かしん経営相談室

当金庫は、地域創生・活性化の支援と取引先の経営力強化のため、外部専門機関等と連携し、「かしん経営相談室」を無料で開設しております。経営についてお悩みの方は、ぜひご相談ください。

- 日時：随時
- 会場：かしんアイホールビル2階、お取引営業店
- 対象：当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者
- 相談：予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。
(1回の相談時間：原則2時間)

内 容

- ①経営全般の相談
- ②創業・新事業相談
- ③相続・事業承継相談
- ④税務相談
- ⑤その他

相談員

株式会社
アセットパートナーズ南九州
税理士法人
鹿児島さくら会計



②音楽の杜

①かしんチャリティー演奏会の開催

当金庫は、社会貢献活動の一環として、毎年チャリティー演奏会を開催しています。平成26年度は、10月4日に市民文化ホール(第二)で開催しました。

ステージでは、当金庫吹奏楽部・舞踊部の出演に加え、南日本音楽コンクール弦楽部門審査員を務めるバイオリンの「田中愛」さん、第8回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門全国大会入選の「福重真紀」さんなど、素晴らしい演奏が披露されました。

皆さまから寄せられました慈善会員券の売上金と寄付金の浄財は、全額社会福祉事業等へ寄付いたしました。皆さまの善意に深く感謝申し上げます。

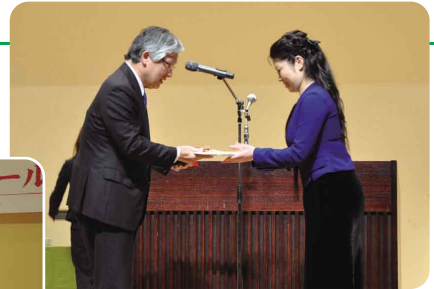


②南日本音楽コンクール協賛

平成26年12月7日、当金庫が特別協賛している「第63回南日本音楽コンクール」の表彰式が開催されました。

南日本音楽コンクールの歴史は半世紀以上におよび、ピアノ、管打楽、弦楽、木管、金管、声楽、作曲の7部門に対して参加者は小学生から大学生・一般まで幅広く、県内の若手音楽家の登竜門として大きな期待を担っています。

今回は7部門に108名が出場し、予選・本選を経て優秀賞が13名選ばれ、鹿児島信用金庫賞は声楽部門から出場した一般の方が受賞されました。



③教育の杜

①かしん「こども信用金庫」教室

当金庫では、【金融教育を通して健全な金銭感覚を育てる】【当金庫を身近に感じてもらう】ことを目的として、平成23年8月から毎年かしん「こども信用金庫」教室を開催しております。



②かしんアイホールセミナー

皆さまの暮らしに役立てていただくことを目的として、平成23年から「かしんアイホールセミナー」を定期開催しております。本セミナーでは、年金・医療のほか国内情勢に応じた身近なテーマを取り上げ、毎回ご好評を得ております。

平成26年度は、メディポリス医学研究財団永田理事長による「がん」に関するセミナーや税制の改正点を踏まえた相続税対策セミナー等を開催いたしました。

今後も、多くの方が興味を持たれている分野をテーマにしたセミナーを実施していきます。



③硬筆コンクール協賛

平成26年8月3日、当金庫が特別協賛している「第25回KKB硬筆コンクール」の表彰式が開催されました。

硬筆コンクールは、文字を正しく、整えて、丁寧に書くことを大切にする心を育み、文字文化の振興と発展に寄与することを目的としています。

今回は、県内外の学校や書道教室等から5,200点を超える応募があり、出展者の日々の研鑽と指導者の熱意が強く感じられる作品ばかりでした。

表彰式では、小学生2名、高校生1名、一般の方1名に鹿児島信用金庫賞の表彰をいたしました。

また、かしんアイホールでは、夏休み期間中に優秀作品を展示した巡回展を開催しております。





かしの杜

④ スポーツの杜

① かしんカップ少年サッカー大会

サッカーを通じて、参加チーム相互の親睦と少年の健全育成を図り、あわせてサッカーの普及ならびに技術の向上を目的として、平成18年度からかしんカップ少年サッカー大会を開催しております。

第9回大会は、平成27年3月14日・15日の日程で鹿児島県吹上浜海浜公園において開催いたしました。

大会には68チーム・1,000名を超える小学生が参加し、熱戦が繰り広げられました。また、同時に「エコキャップ運動」も実施し、参加者のご協力によりペットボトルキャップ約54万個が集められました。



② かしん旗少年剣道大会

剣道を修行する青少年の気力・体力・技術の向上を図り、相互の親睦を深め、将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的に、平成24年からかしん旗少年剣道大会を実施しています。

平成26年11月9日、伊集院総合体育館において第3回大会を開催し、53チーム・350名の少年剣士が集い、はつらつとした元気のある試合が繰り広げられました。



お取引先とのつながりについて

かしんハッピー会

当金庫では、早くから皆さまの組織づくりに力を入れております。1963（昭和38）年にスタートした「かしんハッピー会」は、【会員の資質向上を図る場】【異業種交流の場】【会員相互間の親睦と連携を深める場】として営業店単位で組織され、現在は1,400名を超える会員で活動を行っています。



KYC（鹿児島信用金庫青年クラブ）

次世代を担う若手経営者が、これから学びかつ進むべき道をお互いの連携の中で求め、鹿児島に寄与することをスローガンとして昭和49年に発足した異業種交流会です。会員の資格も厳しく、原則として50歳未満の会員をもって構成されています。

主な活動内容としては、例会、ボランティア活動、講演会、視察旅行、宿泊交流会等で、会員自身による自主的な計画のもとで活動しています。

また、平成26年10月には、設立40周年を記念してKYC会40周年記念祝賀会を開催し、多数の会員やOBの方々にご参加いただきました。



地域金融円滑化のための基本方針

地域の中小企業及び個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1 取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

2 金融円滑化の実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢、整備を図っております。

- ①当金庫では、お客様のご要望に応えるよう真摯に対応いたします。
- ②当金庫では、お客様の経営相談・経営指導・経営改善に向け積極的に支援いたします。
- ③当金庫では、金融円滑化管理方針及び同規程を策定しております。
- ④当金庫では、金融円滑化管理全般を統括する部門を設置しております。
- ⑤当金庫では、金融円滑化管理に関する担当役員等責任者を配置しております。

3 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件の変更等の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

●平成26年度 経営改善支援等の取り組み実績

(単位:先数)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援 取り組み先数 B	Bのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数 C	Bのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 D	Bのうち 再生計画を 策定している 全ての先数 E	経営改善支援 取り組み率 B/A	ランクアップ 率 C/B	再生計画 策定率 E/B
正常先 ①	2,499	4		1	0	0.2%		0.0%
要 注 意 先								
うちその他要注意先 ②	449	144	7	132	61	32.1%	4.9%	42.4%
うち要管理先 ③	28	28	2	23	23	100.0%	7.1%	82.1%
破綻懸念先 ④	88	42	1	40	24	47.7%	2.4%	57.1%
実質破綻先 ⑤	45	0	0	0	0	—	—	—
破綻先 ⑥	16	0	0	0	0	—	—	—
小 計 (②～⑥の計)	626	214	10	195	108	34.2%	4.7%	50.5%
合 計	3,125	218	10	196	108	7.0%	4.6%	49.5%

(注)・期初債務者数及び債務者区分は26年4月当初時点で整理しています。

・債務者数、経営改善支援取り組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。

・Cには、当期末の債務者区分が「初期よりランクアップした先数」を記載しています。なお、経営改善支援取り組み先で期中に完済した債務者はBに含めるもののCに含めていません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が「期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はCに含めています。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取り組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が「初期の債務者区分」と異なっていたとしても)「初期の債務者区分」に従って整理しています。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。

・Dには、期末の債務者区分が「初期と変化しなかった先数」を記載しています。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。

・「Bのうち再生計画を策定している全ての先数 E」には、当金庫独自の再生計画策定先のほか、中小企業支援協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含みます。